

**地域医療再生計画(周産期医療体制整備)事業の  
進捗状況について**



# 1 盛岡保健医療圏における事業の進捗状況について

## (1) 全体の事業状況について

項目	事業目的	事業内容	概算整備費		備考
			計画額	実績見込	
1 周産期電子カルテの導入	周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」について、総合電子カルテとの連動化を図り、医師等の入力に要する負担軽減を図る。	いーはとーぶと総合電子カルテ等院内システムと連携可能な周産期電子カルテの県内共通標準仕様書を整備し、その仕様書に基づき、周産期母子医療センター及び協力病院に周産期電子カルテを導入する。 併せて、いーはとーぶ等の基幹ネットワークについて連携に必要な改修等を行う。	822	1,013	
2 周産期超音波画像伝送ネットワーク(仮)の構築	超音波診断画像を活用して妊婦健診や診断時に経験豊かな専門医から助言を受けるなどにより、健診や診断の精度の向上を図るとともに、妊産婦及び医療従事者の負担軽減を図る。	胎児の超音波診断画像を他の医療機関に伝送し、妊婦健診等に活用することができるシステムを開発し、県内で分娩を取扱う医療機関の一部及び遠野市助産院に導入するとともに、同システムで使用可能な超音波画像診断装置を導入する。 併せて、胎児心疾患における出生前診断の精度向上のための取組について今後検討していく。	527	371	一部拡充
3 新生児の救急搬送体制の確保	新生児の救急搬送体制の充実を図る。	周産期母子医療センター及び協力病院に救急搬送等用の保育器及びレスピレーターを整備する。	46	46	追加事業
4 周産期医療に係る人材育成等	いーはとーぶを基軸とした周産期医療情報連携の効率的・効果的な運用のため、助産師等の医療従事者のスキルアップを図る。	遠野市への委託により各種講座等(いーはとーぶ操作実習、超音波診断装置操作実習、周産期医療フォーラムの開催)を実施する。	21	21	追加事業
5 いーはとーぶの導入拡大	妊産婦及び新生児の搬送時における適切な受入体制を確保するとともに、市町村と医療機関の連携を強化するため、市町村における加入及び活用の拡大を図る。	市町村独自の保健システム及びいーはとーぶ間のデータ移行を可能とすることにより、市町村のいーはとーぶへの加入拡大を促進するため、必要となる保健システムの改修に要する経費を支援する。	36	31	追加事業
(高規格周産期医療専用搬送車の導入)	総合周産期母子医療センターである岩手医科大学に周産期医療専用高規格救急車を整備することとしていたが、事業の優先順位や運営上の課題を考慮した結果、導入しないこととして決定したものの。		30	0	取りやめ
整備費計			1,482	1,482	

(単位：百万円)

※ 概算整備費の実績見込欄については、今後の事業の進捗等により額の変動が想定されるものであること。

→ 周産期電子カルテの導入に係る事業費が計画額を超過する見込であり、他の事業について精査を行っていること。

## (2) 各事業の進捗状況について

### ① 「周産期電子カルテの導入」について

#### ア 事業目的及び事業概要

- ・ 周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」について、総合電子カルテとの連動化を図るとともに、医師等の入力に要する負担軽減を図るため、いーはとーぶ及び総合電子カルテと連携可能な周産期電子カルテを導入する。
- ・ 周産期電子カルテや超音波画像伝送システムの導入に当たり、基幹ネットワーク（岩手医科大学矢巾キャンパス内）の整備を実施する。

#### イ 進捗状況

（単位：百万円）

区分	実施年度	項目	事業内容	整備費（見込）	進捗状況
周産期電子カルテの整備	H23	① 周産期電子カルテの標準仕様書作成	パッケージ化された周産期電子カルテをベースとし、利用者の意見を取り入れながら、岩手県版標準仕様書を作成し、ソフトウェアのカスタマイズを行う。	5	（実施済み）
	H24 H25	② 周産期電子カルテの導入整備	周産期母子医療センター及び協力病院のうち10病院に対し、①による周産期電子カルテを導入するとともに、基幹電子カルテ等院内システムとの連動化を図る。	859	・ 現在、各病院の事務方と補助金交付に向けての手続き中 今後、各病院において導入を行い、平成24年度末以降、順次稼働 ※ 北上済生会病院は整備を行わない旨回答あり
	H24 H25	③ 周産期電子カルテの保守管理	導入病院が周産期電子カルテの保守等を行う。	36	（②の整備完了後実施）
基幹ネットワークの整備	H23	④ いーはとーぶの改修	周産期電子カルテ及び超音波動画画像伝送装置との連携を図るため、既存システムの一部改修等を行う。	45	（実施済み）
	H24	⑤ ネットワーク整備	周産期医療情報連携を可能とするため、セキュリティを確保した基幹ネットワークを構築する。	18	現在、基幹ネットワークの構成について最終調整中（今年度中に整備実施）
	H25	⑥ いーはとーぶと超音波画像伝送システムの連携、サーバ移設	いーはとーぶ上で超音波画像伝送システムにより保存した動画を閲覧できるよう改修を行うほか、基幹ネットワークサーバ等を免震構造をもった岩手医科大学矢巾キャンパスマルチメディア棟へ移設する。	30	（来年度整備に向けて調整中）
	H24 H25	⑦ システム保守	基幹ネットワーク上の各システムサーバ等について保守等を行う。	19	実施中
	H22～ H25	⑧ 事業検討委員会・幹事会開催	事業検討委員会・幹事会を開催する。	1	これまで委員会1回、幹事会7回開催
			整備費計	1,013	計画上の整備額 822百万円

※ 整備費が計画額を超過したのは、周産期電子カルテと連携を行う院内システムとの連携に想定以上の経費が必要となったため。（例：分娩監視システムとの連携に必要な費用 10病院で200百万円）

## ② 「周産期超音波画像伝送ネットワーク(仮)の構築」について

### ア 事業目的及び事業概要

- ・ 妊婦健診や診断の精度向上を図るとともに、現場の産婦人科医及び妊婦の負担軽減を図るため、胎児の超音波診断画像をリアルタイムにより他の医療機関に伝送（アーカイブ保存の後呼び出すことも可能）し、遠隔での妊婦健診や、経験豊かな専門医からの助言による出生前診断を可能とするような「超音波画像伝送システム」を開発し、遠隔妊婦健診等に活用する医療機関に導入するとともに、同システムと連携可能な超音波診断装置を導入する。
- ・ 分娩取扱医療機関が総合周産期母子医療センターと連携し、胎児心疾患の出生前診断体制を構築するとともに、現場の産科医療従事者のスキルアップ及び妊産婦の負担軽減を図るための取組について、今後、検討を進めていく。

例：STIC機能（胎児の心臓を3D動画により分析することができる機能）を有する超音波診断装置を整備し、胎児データを郵送等により送付することにより、出生前診断体制を構築し、精度向上を図る。（11/2 事業検討委員会幹事会において計画案として提示）

### イ 進捗状況

（単位：百万円）

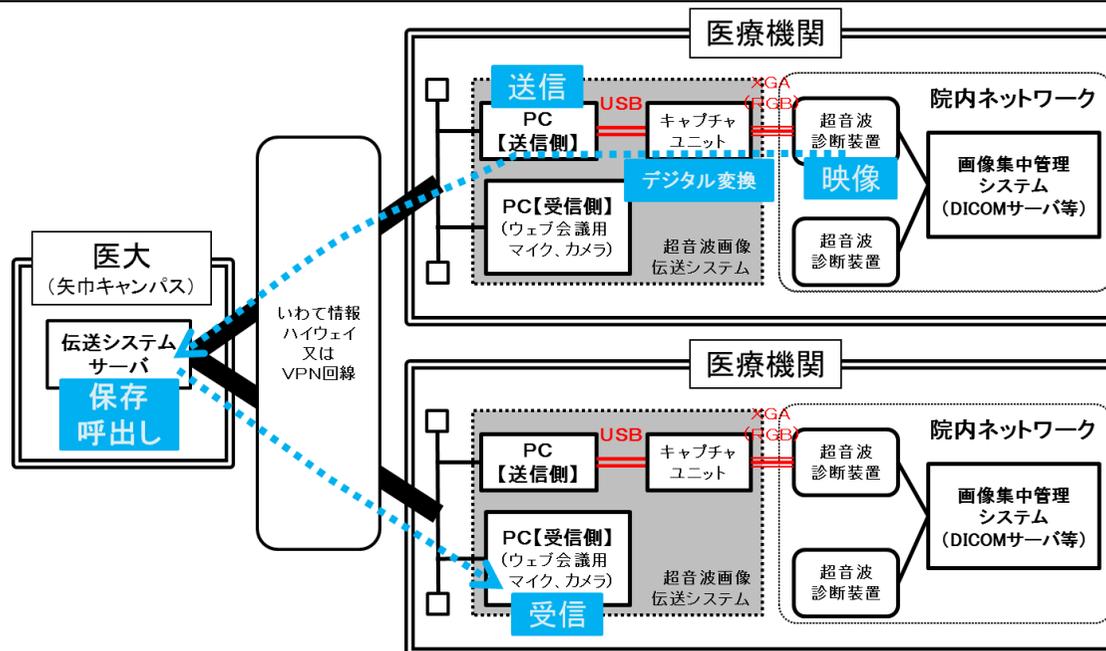
実施年度	項目	事業内容	整備費（見込）	進捗状況
H23	① 伝送システムの開発	超音波診断装置の動画画像をリアルタイム及びアーカイブで共有するためのシステムを開発する。	50	（実施済み） 県立大船渡病院、岩手医科大学等において実証試験を4回実施 ※1
H24	② 伝送システムの導入整備	モデル事業として、次の県内5医療機関に対し、(1)による伝送システム及び同システムと連携可能な超音波診断装置を導入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">県立大船渡病院、県立釜石病院、遠野市助産院</div> （遠隔妊婦健診への活用） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">岩手医科大学附属病院、県立宮古病院</div> （初期スクリーニングへの活用）	120	今後、整備に向けて、各導入機関と調整していく予定
H24 H25	③ 伝送システムの保守管理	伝送システムを導入した医療機関が同システムの保守等を行う。	2	（②の整備完了後実施）
H25	④ 胎児心疾患診断の精度向上のための取組（仮）	胎児心疾患の出生前診断の精度向上のため、分娩取扱医療機関と専門医の連携体制を構築する。	199	今後、実施に向けて関係各所と協議する予定 ※2
整備費計			371	計画上の整備額527百万円

※1 実証試験の結果、回線の状況等により画像がコマ送りになってしまうことがあり、遠隔妊婦健診には活用できるものの、胎児心疾患の診断には活用が難しいと判断される等、いくつかの課題が見られたことから、モデル事業によって実施するもの

※2 送り手、受け手双方の体制等、ソフト面の課題については、今後、岩手医科大学や県産科医会等と調整を行っていくもの

### 【超音波画像伝送システムの概要】

- ① 超音波診断装置から取り込んだ映像（動画）をリアルタイムで他の医療機関に送信することができる。  
（超音波診断装置からの映像とは別に、映像・音声によるテレビ会議（リアルタイムカンファレンス）も可能）
- ② 超音波診断装置から取り込んだ映像を伝送システムサーバに保存することができる。  
また、保存した映像について、他の医療機関がサーバから呼び出して確認することができる。



### 【超音波画像伝送システムの仕組み】

- (送信側) 超音波診断装置のXGA端子から出力された映像をキャプチャユニットによりデジタルに変換し、伝送システムサーバに送信する。
- (受信側) 他の医療機関（拠点）から伝送システムサーバを経由してリアルタイムに送信された映像や、伝送システムサーバに録画保存された映像を受信し表示するほか、ウェブ会議によるカンファレンスができる。

### ③ 「新生児の救急搬送体制の確保」について

事業目的	新生児の救急搬送体制の充実を図る。
事業概要	周産期母子医療センター及び協力病院である 11 病院に対し、緊急搬送への常時対応が可能となるよう救急搬送用の保育器及びレスピレーターを整備する。
進捗状況	平成 24 年度整備予定

### ④ 「周産期医療に係る人材育成等」について

事業目的	いーはとーぶを基軸とした周産期医療情報連携の効率的・効果的な運用のため、助産師等の医療従事者のスキルアップを図る。	
事業概要	分娩を取扱う病院や診療所のない地域において、ICT を活用しながら安心安全な出産環境の確保に先進的な取組みを行っている遠野市に事業を委託し実施する。	
進捗状況	平成 24 年度は実施中、平成 25 年度も同等の内容により実施する方向で検討中	
	○ 主な事業内容（平成 24 年度）	
	項目	事業内容
	1 新生児蘇生講習会の開催	県内産科医療機関の医療従事者及び妊産婦緊急搬送に関わる救急救命士、救急隊員を対象に、日本版救急蘇生ガイドライン 2010 に基づき新生児蘇生法講習会を開催する。（10 回開催）
	2 「いーはとーぶ」等操作講習会の開催	県内の周産期医療情報の集約・共有化を図り、周産期及び救急医療等を推進するため、「いーはとーぶ」及び遠隔妊婦健診に係るモバイル胎児心拍転送装置の操作講習会を開催する。（3 回開催）
	3 超音波診断装置操作講習会の開催	周産期医療に関わる助産師等医療従事者の技術向上、人材育成を図るため、超音波診断装置の操作方法及び診断方法等について、遠野市で実施している遠隔妊婦健診の取組について紹介しながら、技術・知識・理論・技術を習得するための講習会を開催する。（4 回開催）
4 妊産婦緊急搬送実証訓練の実施	消防機関、ドクターヘリ又は防災ヘリ、搬送先医療機関等と共同して、妊産婦の緊急搬送訓練を行い、妊産婦の救急搬送のあり方と医療情報の共有について検証する。（1 回開催）	
5 周産期医療フォーラム（仮称）の開催	医療関係者、救急救命士等及び県民を対象に周産期救急搬送に関するフォーラムを開催する。（1 回開催）	

### ⑤ 「いーはとーぶの導入拡大」について

事業目的	妊産婦及び新生児の搬送時における適切な受入体制を確保するとともに、市町村と医療機関の連携強化を図る。
事業概要	いーはとーぶの加入促進及びいーはとーぶへの入力事務の軽減のため、各市町村に導入している保健システム等をいーはとーぶとの連携（CSV データによる）のために改修する。（最大 2 百万円／市町村）
進捗状況	平成 24 年度 6 市町の改修へ補助を実施（盛岡市、大船渡市、北上市、遠野市、岩手町、矢巾町） 平成 25 年度 継続実施予定（複数市町村で改修を実施する見込） （平成 25 年度末の市町村いーはとーぶ導入見込 30 / 33 市町村、90.9% （現在 24 / 33 市町村、72.7%））

### (3) 整備スケジュール(予定)

	平成 24 年度					平成 25 年度
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
1 周産期電子カルテ導入	各病院（周産期電子カルテの調達、基幹電子カルテ等との連携、保守）					各病院において順次稼働
	基幹ネットワーク整備					いーはとーぶと伝送システムの連携等
2 超音波画像伝送ネットワークの構築	各導入機関（伝送システムの調達、保守、実証）					事業実施（機器整備等）
	胎児心疾患の出生前診断 連携体制構築に係る調整等					
3 新生児の救急搬送体制の確保	各病院（契約、調達）					
4 周産期医療に係る人材育成等	遠野市（研修実施）					
5 いーはとーぶの導入拡大	市町村（改修）					

## 2 釜石保健医療圏における事業の進捗状況について

項目	事業目的	事業内容	実績整備費 (単位:百万円)	備考
1 県立釜石病院における院内助産施設の勤務環境改善	県立釜石病院の助産施設における勤務環境の改善を図る。	院内助産施設の改修として、妊産婦指導のためのスペース確保や、プライバシー保護のための診察室のレイアウト変更等を行うほか、分娩監視システム等の設備の整備を行う。	66	H22～H23 実施済み
2 高規格救急車の導入(県立釜石病院)	周産期医療体制における圏内及び他圏域間連携の実効性を高めるため、妊婦・新生児の搬送体制を確保する。	県立釜石病院に新生児搬送に使用できる高規格救急車を整備する。	26	H22 実施済み
整備費計			92	

※ 釜石保健医療圏における周産期医療関連事業についてはすべて完了していること。

## 【参考 これまでの検討経緯】

- 地域医療再生計画（盛岡保健医療圏・釜石保健医療圏）に基づく周産期医療体制の整備に関する事業の実施に当たっては、当該事業の具体化と効果的・効率的な実施を図るため、県内有識者及び事業関係者による「岩手県地域医療再生計画（周産期医療体制整備）事業検討委員会」及び「岩手県地域医療再生計画（周産期医療体制整備）事業検討委員会幹事会」を組織し、必要な調査検討等を実施しているもの。
- これまで、委員会1回、幹事会7回を開催し、

<p>【これまでの開催回と主な検討内容】</p> <p>第1回幹事会 平成22年3月17日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療再生計画の内容について</li> <li>・ 事業実施上の課題等について</li> </ul> <p>第2回幹事会 平成22年6月18日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周産期医療情報ネットワークシステムの整備に向けた進捗状況について</li> </ul> <p>第3回幹事会 平成22年11月26日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療再生計画（周産期医療体制整備）の進捗状況について</li> </ul> <p>第1回委員会 平成23年2月3日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県地域医療再生計画（盛岡保健医療圏）周産期医療体制整備について</li> </ul> <p>第4回幹事会 平成23年10月7日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回検討委員会の結果について</li> <li>・ 岩手県地域医療再生計画（周産期医療体制整備）の進捗状況及び今後の予定について</li> <li>・ 既存事業の見直し及び新規事業の追加について</li> </ul> <p>第5回幹事会 平成23年11月18日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周産期電子カルテ及び周産期超音波画像伝送システムの仕様・機能等について</li> <li>・ 高規格周産期医療搬送車の整備について</li> <li>・ 周産期医療スタッフのスキルアップ事業について</li> <li>・ 整備スケジュール及び各事業実施主体の費用負担について</li> </ul>	<p>第6回幹事会 平成24年1月31日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周産期電子カルテの機能等について</li> <li>・ 事業の進捗状況について</li> </ul> <p>第7回幹事会 平成24年11月2日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の進捗状況について</li> <li>・ 周産期電子カルテの整備について</li> <li>・ 超音波画像伝送システムの整備について</li> <li>※ 伝送システムの実証試験の結果を受けて、今後の整備について検討（モデル事業としての実施）</li> <li>※ 胎児心疾患の出生前診断における連携体制の必要性について検討</li> <li>・ 周産期高規格救急車の整備について</li> <li>※ 事業の優先順位等を考慮して、実施の可否について検討</li> </ul>
---	---

## 【事業検討委員会・幹事会の構成委員】

岩手県地域医療再生計画（周産期医療体制整備）事業検討委員会委員			岩手県地域医療再生計画（周産期医療体制整備）事業検討委員会幹事会幹事		
区分	氏名	備考	区分	氏名	備考
委員長	小林 誠一郎	岩手医科大学附属病院長	幹事長	吉田 耕太郎	社団法人岩手県医師会常任理事
委員	杉山 徹	岩手医科大学医学部教授 (岩手県周産期医療協議会委員)	幹事	小笠原 敏浩	岩手県立大船渡病院副院長
〃	千田 勝一	岩手医科大学医学部教授 (岩手県周産期医療協議会委員)	〃	福島 明宗	岩手医科大学医学部教授
〃	小林 高	岩手県産婦人科医会長 (岩手県周産期医療協議会委員)	〃	葛西 健郎	岩手医科大学医学部准教授
〃	滝田 研司	社団法人岩手県医師会常任理事 (岩手県周産期医療協議会委員)	〃	森田 友明	森田小児科医院 院長
〃	大沼 一夫	岩手県小児科医会長	〃	柳沢 茂人	岩手医科大学附属病院事務部長
〃	山口 淑子	社団法人岩手県医師会常任理事	〃 (岩手県)	菅野 義克	総務部法務学事課行政情報化推進課長
〃	兼田 昭子	社団法人岩手県看護協会会長 岩手県医療審議会委員	〃 (岩手県)	高橋 勝重	保健福祉部保健福祉企画室企画課長
			〃 (岩手県)	野原 勝	保健福祉部医療推進課総括課長 (検討委員会事務局)
			〃 (岩手県)	佐藤 敬一	医療局医事企画課総括課長

※ 役職等については、最終開催時のものであること。